

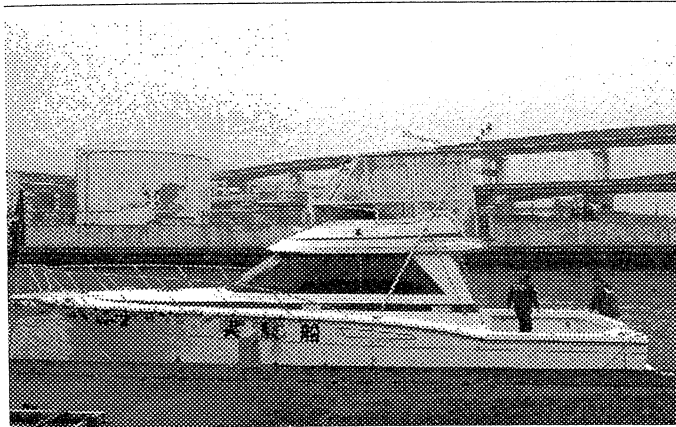
2010年(平成22年)2月4日 木曜日

26

船舶の備品転倒 防ぐマット開発

プロセブンは
実験船導入

プロセブンは、大阪市天王寺区、小玉誠三社長、06・6191・3800は、船舶用備品保護



マットの実験船(写真)を導入、公開した。進水式後、淡路島沖で関係者を乗せて実験を行った。同社は耐震粘着マットを製造販売している。製品の用途として、小型船舶が波で傾斜した時に備品や機器類の転倒を防ぐ保護マットを開発中。

実験船は全長13・5m。波浪による揺れに、自社製品が有効かどうかをテストするため導入した。顧客を同乗させて、保護マットの効果のプレゼンテーションも行う。

電子レンジやポット、ドリンクホルダーなどキャビン内の備品や、モニターなど機器類の転倒防止用としての使用を検討しており、商品開発を進める。